

社会科

社会科の目指す生徒像

- 社会的事象に興味や関心をもち、その背景等に目を向け、課題を追究しようとする意欲をもつ生徒
- 地図やグラフ、年表、文章資料、ニュースなどから、その地域や時代、社会の問題に目を向け、その問題の解決に積極的に取り組もうとする意欲をもつ生徒
- 学習したこと、自分なりに考えたことやそれらの問題の解決策を自分の言葉でまとめ、表現することのできる生徒

授業評価における課題

- 発言や質問する生徒が全体的に少ない。
- 社会科で取り扱う内容が、過去のことや外国のことなど、生徒がイメージしにくいものが多い。そのため、生徒が理解しやすい資料をいかに提示するかが課題である。
- 社会科の学習が苦手な生徒やつまずきのある生徒に対してどう支援するかが課題である。

学力調査における課題

- 社会的事象に興味・関心をもちことや、その事象が見られる背景を追求しようとする意欲をもたせることが課題である。
- 小テストや定期考査の小テストを行い、基礎的・基本的事項の定着を図ることが課題である。

言語活動における課題

体験したことや調べたことをまとめ、発表し合う活動に対して、課題が見られる。
地図やグラフ、年表、文章資料などの資料の読み取る能力を高めることが課題である。
社会的事象が見られる背景を追究し、自分の考えをまとめ、発表する力を育成することが必要である。

本校で検討した言語活動例

様々な資料を的確に読むことやそれらの資料を関連付けて読む活動

改善策

実物資料やICT機器を活用して、生徒の興味・関心を高め、生徒が分かる授業を行う。

改善策

授業につまずきのある生徒や分からない箇所がある生徒に対して、補習や小テストを行い、早めにつまずきが解決できるように対応する。

改善策

ワークシートの中に、資料を読み取り、自分の言葉で記述する設問を多く設け、資料活用能力や読み力・判断力・表現力を高める指導を行う。



～ 研究の成果 ～

- 単元のまとめに、学習した成果を自分の言葉でまとめる指導を繰り返し行った結果、生徒の言語による多様な表現が見られるようになった。
- 毎時間、ワークシートを評価し、地図やグラフ、年表や統計資料などを読み取る学習を繰り返し行った結果、生徒は資料をより深く読み取り、表現することができるようになった。